くれ まち編み図

～だれもがチャレンジできるまち～

呉リノベーションまちづくり構想　vol.1

CONTENTS

CHAPTER 1
呉のリノベーションまちづくりのこれまで

1-1 プロローグ 02
1-2 リノベーションまちづくり構想の位置付け 03
1-3 リノベーションまちづくりとは 03
1-4 呉のリノベーションまちづくり 04
1-5 これまでの呉の取り組み 05
1-6 呉のリノベーションまちづくりの事例 06

CHAPTER 2
呉リノベーションまちづくり戦略会議と構想

2-1 戦略会議と構想策定までの流れ 07
2-2 委員紹介 08
2-3 呉を見立てる 09
2-4 議論の経緯 10
2-5 会議のまとめ 14
2-6 構想 14

CHAPTER 3
構想に基づく提言

3-1 アクションチームの提言 16
3-2 システムチームの提言 17
3-3 市役所・関係団体からの意見 18

おわりに 21

CHAPTER 1

呉のリノベーションまちづくりのこれまで

1-1 プロローグ

この構想が、呉のリノベーションまちづくりのスタートラインです。

2020年2月7日記念すべき第1回リノベーションスクール@呉の初日、そのニュースは飛び込んできました。
長年にわたって呉市の地域経済を支えてきた日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区が2023年9月をもって全面休止。
報道の影響は大きく、その直後から始まったコロナ禍も相まって
「呉のまちではもう何をやってもだめなのでは…」という声も聞かれるようになってきました。
たしかに人口減少・経済縮小に伴う縮退局面において、
かつて通用していたスクラップアンドビルドのまちづくりは通用しにくくなっています。
そんな中、呉市ではこれまでとは異なる手法である「リノベーションまちづくり」に取り組んできました。
リノベーションまちづくりとは、今あるものを「つかいこなす」まちづくりで、小さくできることから実施していく取組です。

実は、呉市では過去にこれと類似したまちづくりが行われていたのです。
それは海軍進出以降の呉市の市街地が形作られていた時期、
当時海軍は、市街地形成の計画をしていましたが、国の（鎮守府建設）予算の縮小のため断念。まちづくりは地域が担うことになりました。
その主体となったのは、会社組織や行政ではなく地域に住む個人であり、事業規模も小さなものが中心でした。
また海軍が策定した計画を参考に、地域性に合わせて市民が主体的に計画を立案し推進しました。

つまり海軍進出以降の呉のまちは、決して海軍から与えられたものではなく呉市民自身が自らの力で形つくっていったものと言えるのです。
先人にできたことが、今の私たちにできないことはないと思うのです。
「よし やってろうじゃないか！」
呉の先人たちはそう思いながらまちづくり、さらには世界最大の戦艦「大和」や巨大タンカーの建造といったプロジェクトを、当時としては異例の短期間で成し遂げてきたのではないでしょうか。

現在、呉市のリノベーションまちづくりでは
民間主導で始まった小さなプロジェクトを市役所もバックアップ・サポートしながら共に形にしてきました。まちに起こった小さな変化、それが少しづつ広がり、連鎖し、エリア全体に波及しています
また、民間と市役所の連携によって、公共空間を活用する大きなプロジェクトの展開などが生まれてきています。
このように、小さなリノベーションまちづくりと大きなリノベーションまちづくりを組み合わせることで、エリアが活性化していっています。

主体的にまちの将来像を描き、今あるものを「つかいこなす」まちづくりを進めることで
将来の呉市民に、よりよい呉を残していこうではありませんか。
『呉リノベーションまちづくり構想』は
「チャレンジしたい人」「応援したい人」などまちに関わる様々な人々を紡ぎ編んでいくための言わば「編み図」です。
そして、この構想が、呉のリノベーションまちづくりの新たなスタートラインです。
「よし やってろうじゃないか！」

1-2 リノベーションまちづくり構想の位置付け

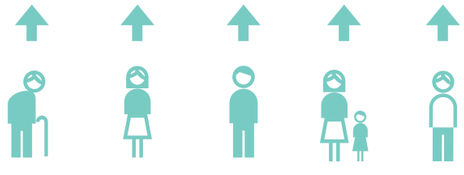
本構想は、呉市の各種計画に記載される「リノベーションまちづくり」について、今後のビジョン（構想）・取組の方向性（提言）を示すものです。市と民間から選出された策定委員・市民の意見をもとに、これまでの取組を整理した上で策定しています。**民間の「やりたい」を反映させたより実行的な構想**とすることで、今後さらに呉市でチャレンジする人・それをサポートする人をはじめとしたリノベーションまちづくりに取り組む人材の裾野とエリアの拡大を目指します。
呉の人々にとってこの構想は、完成されたものではなく、行政・民間の分野横断的な連携や議論を促すスタートラインとして活用されることを期待しています。

第５次呉市長期総合計画

呉市都市計画マスタープラン
呉市立地適正化計画

呉リノベーションまちづくり構想

呉市の計画に記載のある「リノベーションまちづくり」の
今後に向けたビジョンと取組の方向性を策定する
具体的なアクションプラン



1-3 リノベーションまちづくりとは

リノベーションまちづくりとは
「まちの潜在資源を活用して、都市・地域の経営課題を解決する」
まちづくりの手法の1つです。

今まで価値を見出していなかったようなまちの資源を再発見・再解釈し、再編集していきます。
新しいものをゼロからつくるのではなく、空き家など今あるまちの資源を上手く使いながら小さなチャレンジを同時多発的に生み出すことがまちに変化を生みます。
こうした民間主導の取組を地道に継続していくことでエリアの価値が上がり、エリアの再生につながります。

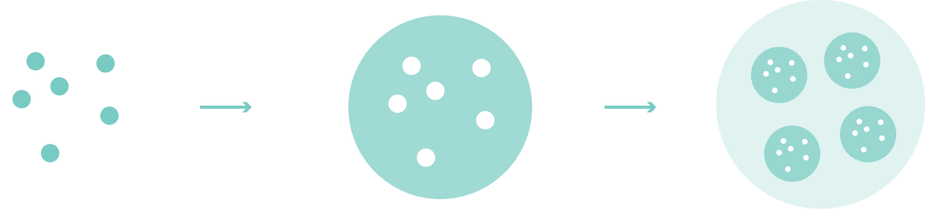
潜在的にまちに存在する社会資源
空間的資源・人的資源・文化的資源
環境的資源・歴史的資源

発掘・再編集

新たな地域価値

POINT 「点」と「面」で考えるリノベーションまちづくり

リノベーションまちづくりは「点」と「面」の考え方が大切です。
一つの遊休ストックを活用した「点」のプロジェクトが生まれ、周囲の**スモールエリア内で連鎖するように次のプロジェクトが生まれていく**ことで、**点が「面」となりエリアが活性化**していきます。さらにまち全体から見た時、そのエリアが一つの点となり、他の地域においても新たな取組が波及し**リノベーションまちづくりという考え方でつながっていく**ことで、まち全体が面的に再生していきます。



エリアへの波及力を意識した「点」のプロジェクト

スモールエリアが「面」になる

スモールエリアが「点」になりまち全体が「面」として再生

スモールエリア … 呉市の計画や商店街の範囲等で定められたエリアではなく、生活者が身体的に認識できる、およそ半径200～300mのエリア

「中央地区商店街エリア」＝スモールエリアからはじめる
呉のリノベーションまちづくり

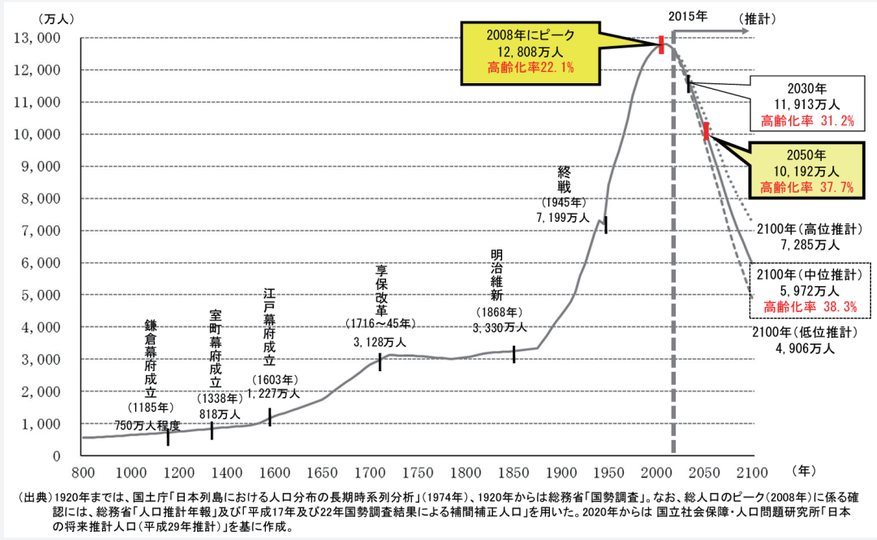
呉市のリノベーションまちづくりは、中通商店街及び本通商店街を中心とする「中央地区商店街エリア」から取組を始めています。

鎮守府の設置から急速な発展を遂げた呉市の中でも、**商業の中心的役割を担い歴史と共に変化を続けてきた中央地区商店街エリア**は、呉の歴史・文化が集まっている一方、遊休不動産の増加など複合的な地域課題を抱えているエリアでもあります。

他地域・島嶼部との関係を考えながら、中央地区商店街エリアの再生に取り組むことで、相乗効果によって呉のまちが抱える様々な地域課題を解決していくためのモデルケースとなることを目指します。

COLUMN リノベーションまちづくりを必要とする社会背景

日本の人口の長期的推移

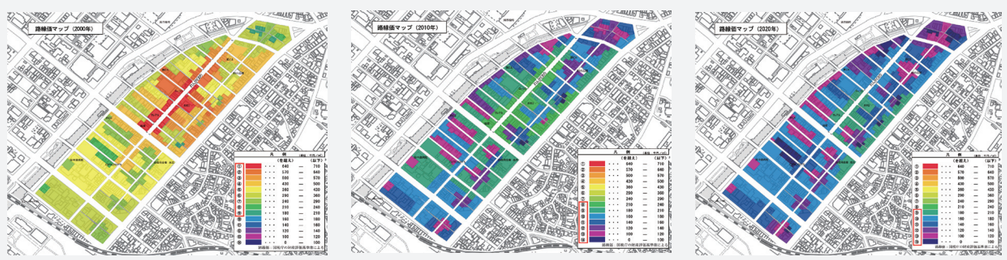


（出典）1920年までは、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」（1974年）、1920年からは総務省「国勢調査」。なお、総人口のピーク（2008年）に係る確認には、総務省「人口推計年報」及び「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」を用いた。2020年からは 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」を基に作成。

高度成長期には、生産年齢人口が増加し、右肩上がりに税収も増加していました 。ところが2008年をピークに人口減少に転じて以降、生産年齢人口が減少し、老齢人口の割合が増加する超高齢化社会が到来しています。税収が減り続ける一方、医療・福祉・年金等の社会保障給付費は増大しています。全国に自主財源で義務的経費を賄えない自治体が続出するだけでなく、空き家の増加、地場産業や中心市街地の衰退など様々な地域課題を抱えています。**成長時代の日本でうまくいっていた手法が通用しにくくなっている**のが今の日本の現状です。

中心市街地の路線価の推移

2000年	2010年	2020年
最高640～710千円以下/㎡	最高210～240千円以下/㎡	最高180～210千円以下/㎡



呉市においても、1975年から人口減少が続くなど同様の現象が発生しています。さらに呉市がリノベーションまちづくりに取り組んでいる「中央地区商店街エリア」では、空き店舗・空きビル等の遊休不動産の増加、商業機能の衰退、雇用の喪失、にぎわいの喪失など山積する都市・地域の経営課題によりエリア価値が低下していました。そこで、都市・地域経営課題を複合的に解決するため、増え続ける遊休不動産を空間的資源として捉えリノベーションまちづくりに取り組んでいます。

1-5 これまでの呉の取り組み

2019年度

事前講演会

第1回
2019年8月

第2回
2019年10月

第3回
2019年11月

第4回
2019年12月

空き店舗めぐり
2019年10月

2021年度

リノベーションスクール

第1回スクール
2020年2月

第2回スクール
2021年7月

2022年度

第3回スクール
2022年8月

第4回スクール
2023年1月

2023年度

第5回スクール
2024年1月

まちづくり戦略会議

第1回戦略会議
2023年1月

第2回戦略会議
2023年2月

第3回戦略会議
2023年4月

第4回戦略会議
2023年8月

第5回戦略会議
2024年2月

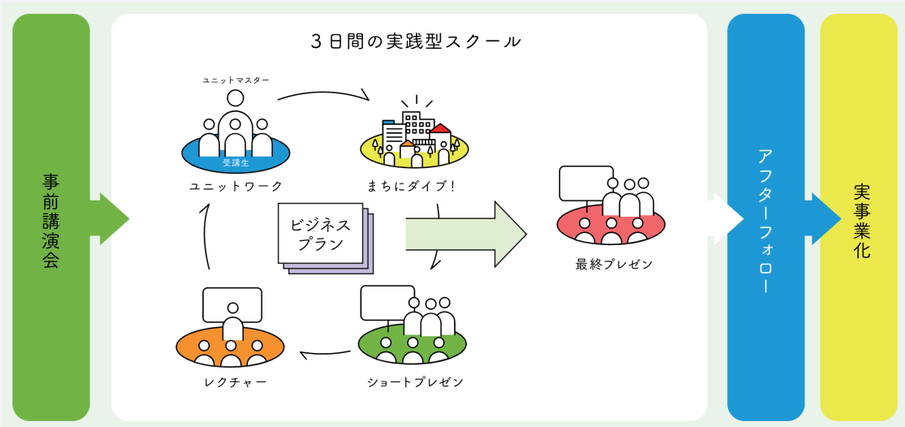
約4ヶ月間の間に3回の戦略会議を行い、集中的にインプットの場を設けた

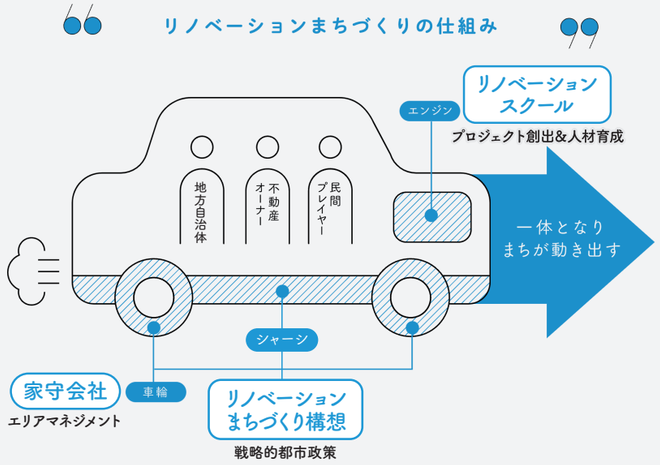
COLUMN

リノベーションスクールとは？

RENOVATION SCHOOL リノベーションスクール

まちなかに実在する遊休不動産を対象とし、エリア再生のためのビジネスプランを同時多発的に創り出す短期集中の実践型スクールです。まちづくりに必要な未来の民間プレイヤー、不動産オーナー、市役所職員の3者が一堂に会しつながることで提案されるビジネスプランは実現性が高まり、まちづくりの起爆剤的な役割を担います。





1-6 呉のリノベーションまちづくりの事例

1 リノベーションスクール@呉 事業化案件

中央地区商店街エリアでは、リノベーションスクールをきっかけに**8件の関連プロジェクトが事業化**しました。
そして事業化案件の周辺では新規出店が相次ぐなど、まちに変化の兆しが生まれています。
また堺川沿いの中央公園では、第３回スクールの提案等を元に、2023年12月から通称どんぐり公園で、売店の設置等を行う公共空間活用の社会実験（トライアルサウンディング）がスタートしています。

第３回案件：中央公園

トライアルサウンディング

第１回案件：畝ビル

waremokou プロットヘア

第３回案件：藤原ビル

Muguet

第２回案件：出本建材ビル

HAIKU

第１回案件：サトウビル

icou-ya憩う家 シェアオフィス

第４回案件：井口ビル

結

第1･2回案件：進栄ビル

space1015

第2回案件：せのビル

Ngon

2 空間的資源を活用した「リノベーションまちづくり」

リノベーションスクール以外でも、市内各地でリノベーションまちづくりに通じる動きが自然発生的に進んでいます。

- 新規出店と既存店舗の改修が続く**「中通２丁目エリア」**
- 合同会社よーそろが手掛けた７件の空き家改修が周辺に波及している**「豊町御手洗エリア」**
- 老舗呉服店の改修が周辺に波及している**「音戸町引地エリア」**
- 地元出身の若手商店主の新規出店が相次ぐ**「広商店街エリア」**
- 民間まちづくり会社が地元の商店主を集めたマルシェを開催している**「堺川沿いの中央公園エリア」**　など

3 社会資源を活用した「リノベーションまちづくり」

空間的資源だけでなくまちに存在する社会資源を**発掘・再編集する取組そのもの**が
「リノベーションまちづくり」です。

PROJECT

「倉橋ZIMAE」
島で昔から愛されている伝統の味を多くの人に知ってもらうために，地域商品の発掘・再編集

「（株）TEGO」（川尻町）
防草効果のある竹チップを製造することで放置竹林と雑草問題という地域課題を複合的に解決

「倉橋島お宝フリット」
未利用魚や規格外野菜などを活用した新しい郷土料理

LOCAL MEDIA

「きよみん通信」
地域の情報だけでなく、昭和地区で輝く人や取組を紹介

「呉の地図つくり隊」
スタンドバーや宿泊施設，銭湯など呉の歴史や地域特性が読める地図を発行

CHAPTER 2

呉リノベーションまちづくり戦略会議と構想

第1回～第3回戦略会議は、呉の魅力を再発見するためのインプット期間としました。構想の仮説を基にテーマ設定した講演を皮切りに、呉の新たな魅力を探る議論を委員・市民と共に行いました。
構想策定に向けたディスカッション期間ではインプット期間で議論した内容を基に委員会・分科会で議論を深め、構想のブラッシュアップ・提言の作成を進めました。
第4回戦略会議では、見えてきた呉の課題・これからのあるべき姿を中間報告として市民に共有しました。
第5回戦略会議では、ブラッシュアップ期間を経て最終報告が行われました。

用語の定義

戦略会議
「呉リノベーションまちづくり構想」策定に向けた公開の会議

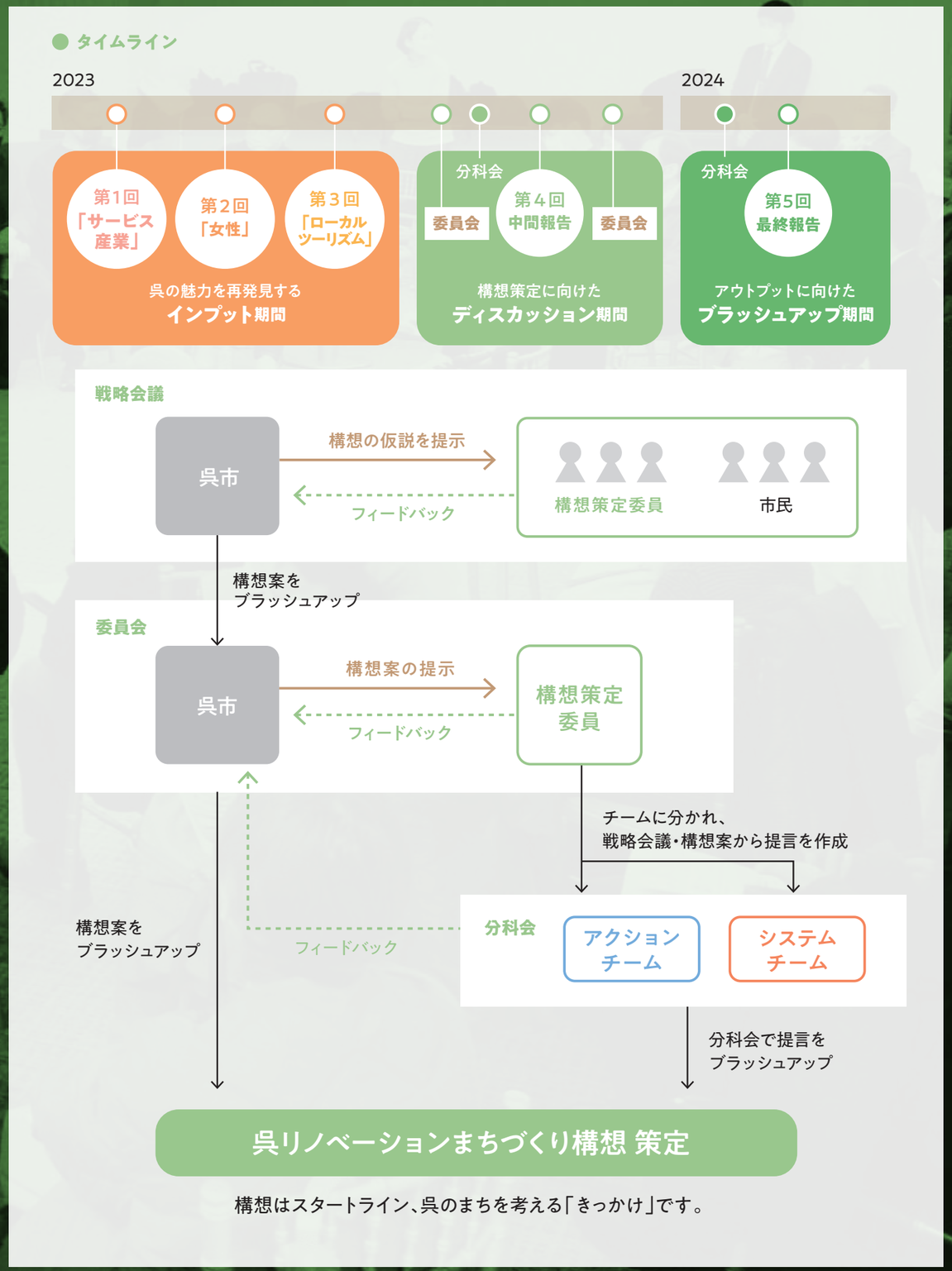
委員会
戦略会議のうち、呉市と委員のみで開催される会議

分科会
提言の作成に向けて委員の中でさらにチーム分けをした会議

構想
呉のまちが目指すビジョン。呉の歴史・文化などを基に仮説を立て、議論を基に呉市が中心となり取りまとめを行う

提言
構想の実現に向けた具体的なアクションプラン。委員が中心となり作成

2-1 戦略会議と構想策定までの流れ



委員長を含めた２０名の委員は、民間・市役所・支援機関から**分野横断的に構成**しました。
また分科会は、議論をより具体的にしていくことを目的として、２つのチームに分けました。

構想策定委員

委員長 大島芳彦
（株）ブルースタジオ クリエイティブディレクター
武蔵野美術大学建築学科 客員教授

アクションチーム

小野香澄
リノベまちづくりサポーター・実践者
NPO法人 呉サポートセンター
くれシェンド理事

下野隆司
まちづくり会社
NPO法人 SYL理事長
都市再生推進法人

澤井弘徳
不動産管理会社
（株）エイトホーム代表取締役

河崎圭一郎
老舗商業者
（株）制服のフジ代表取締役

谷川智明
一般社団法人KURE-PERS（クレパス）
都市再生推進法人
（株）SWITCH代表取締役

土屋禎
UR都市機構西日本支社
中国まちづくり支援事務所
まちづくり支援課長

松川隆志
呉市土木部長

荻野晋
呉市都市部長

村山ゆかり
編集者・ライター
（株）マウントペック代表取締役

松川昌司
呉信用金庫営業統括本部
地域貢献部　部長

呉をさらに魅力的にする行動を考えるチーム

システムチーム

中本尋之
建築家・リノベまちづくり実践者
FATHOM（株）代表

山根麻里
空き家活用アドバイザー
（株）TOWN DESIGN LABO
（有）楠商事

是貞聡志
呉市こども部長

倉員伸明
呉市企画部長

谷村仰仕
呉工業高等専門学校
特命准教授

片山仁志
不動産オーナー
進栄（株）

安倍広志
呉市文化スポーツ部長

寺嶋文秀
呉市理事兼産業部長

小松慎一
呉中通商店街振興組合
理事長

呉をより魅力的にする行動を繋げる仕組みを考えるチーム

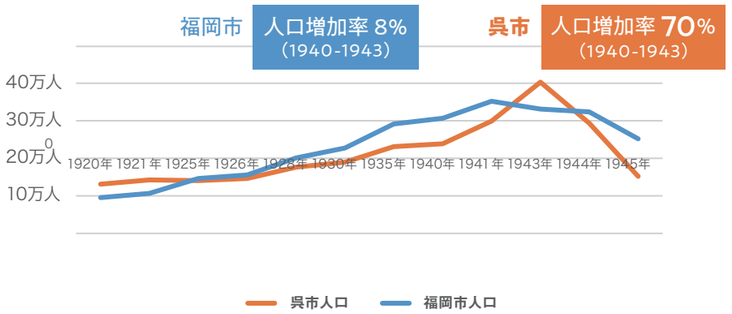
※ 出典：呉の歩みII 英連邦の見た呉 −増補改訂版−

POINT 1

国内まれにみる急速な人口増により支えられたフロンティアなまち

呉市と福岡市の人口推移

データ引用：呉市統計資料（令和４年）/福岡市統計資料（令和４年）



主要な海軍工員の工員数（1940年）

参考：https://wararchive.yahoo.co.jp/content/kure/

呉市では1889年に鎮守府が設置され1903年に海軍工廠が設置されました。工員の規模は工員数56,650人と全国で最も大きく、それに伴って日用品を扱う商人なども県内外各地からが集まり、市内の人口は70年の間に約40倍になるなど急激に増加しました。（参考：呉市史第４巻）

特に戦前1940年~1943年の人口増加率は、当時の同規模人口都市である**福岡市の増加率８%に対して、呉市は70%**と著しく増えており、呉のまちがフロンティアたちによって一気に拡大していったことがわかります。

見立て その1

独自性を育てた呉のフロンティア精神

呉市は全国まれに見る急激な人口増加を経験しており、新しい土地で新しい産業を開拓しようという**「フロンティア精神」に満ちた人々**が全国から集まってきた「開拓地＝フロンティア」な地であったと伺えます。

フロンティア精神
あふれるまち「呉」

POINT 2

多様化の中で生まれ尊重されてきた、呉独自の文化

「イギリス様式の建築群」

今もなお愛される**「スタンド文化」**

ローカルな多様性を持つ**「やぶ」**

多忙な工員向けに開発された
「細うどん」

ソウルフードになっている
「フライケーキ」

全国のスタンダードとは
異なる**「メロンパン」**

フロンティア精神をもった人々が全国から集まってきたという背景から、呉市には全国各地から持ち込まれた**様々な文化が融合**してきたと考えられます。それらが融合されながら、**呉独自の文化が形成**されたことが現在の呉市の日常から伺えます。

見立て その2

育まれた独自性が呉の強い魅力＝「最強偏愛都市」という仮説

フロンティア精神を持つ人たちにより発展した、こだわりのあふれる呉独自の文化が呉の大きな特徴であり魅力であることから、まずは**「最強偏愛都市・呉」と仮説**を立てて、呉を紐解いていくこととしました。

呉リノベーションまちづくり戦略会議

第1回 第2回 第3回 ⇨ **呉の魅力を再発見する インプット期間**

第1回～第３回戦略会議は、呉の魅力を再発見するためのインプット期間としました。各回のテーマは**「最強偏愛都市 呉」という構想の仮説が、3つの要素で構成されていると仮定**し、設定しています。仮説を元にした基調講演を行うことで、参加者が「賛同する部分」「違和感を感じる部分」を考える基軸とし、同時に議論を行うことで各々が「呉の魅力は何か？」と思考を深める場としました。

仮説の議論を深めるための「３つのテーマ」

構想の仮説

第1回 ｜ 個性ある呉のコンテンツ サービス産業

独自の食文化やスタンドなど、呉の人々が当たり前と思っている日常は、魅力溢れる呉のコンテンツである。サービス産業という視点から、呉のまちの日常を振り返ることで呉の「コンテンツの強さ」を再認識する。

第2回 ｜ 脈々と呉のまちを支えてきた 力強い女性たち

呉のまちを支えてきたのは「重厚長大産業」ではなく、その産業を担ってきた「人」と、その労働者たちを日常的に支えてきた「人」である。サービス業を支えていた女性という視点から、呉にいる「人材の豊かさ」を探る。

第3回 ｜ 呉のコンテンツ力と豊かな自然・文化を活かした ローカルツーリズム

コンテンツ力（第1回）と人材（第2回）を含めた呉のまちの日常こそが、最大の社会資源である。ローカルツーリズムという視点から、「まちの日常」を再編集することで見えてくる呉の新たな魅力を探る。

第1回 戦略会議

THEMA ｜ 個性ある呉のコンテンツ サービス産業

基調講演

「公民連携で行うローカルディベロッパー事業について」

大阪市生野区の小学校跡地を活用をした「いくのパーク」について具体的な開業までのプロセスや、運営のポイントを伺いました。生野区は海外からの居住者が多いことから、全国No1.グローバルタウンを目指し、違いを豊かさに変える多文化共生をコンセプトとして掲げています。その取り組みの上で様々な都市課題を解決しエリア価値の向上を目指しながら、実践を始められていることを共有いただきました。

講師

株式会社RETOWN　代表取締役
松本 篤

2004年に RETOWN創業。「まちづくりを産業に」「食を通じたまちづくり」をテーマにローカルデベロッパーとして事業を展開。大阪・大正区の水辺の複合施設「TUGBOAT TAISHO」や大阪・生野区の廃校になった小学校を活用した多文化共生の拠点「いくのパーク」を企画・開発・運営。また「食に関わる問題解決」をテーマに、３ヶ月で寿司職人を育成する「飲食人大学」や大阪市内を中心に約４０店舗の飲食店の運営も行う。

DISCUSSION

- **既に魅力的な素材はある。**編集でより価値を高められる。
- 独特の世界観があり、媚びない（一見さんに冷たい）
- **呉市特有の食文化。**（生け簀のある焼き鳥屋や、鶏皮の味噌煮）
- 若い人など呉のお店を**知らない人も多い。**
- 家賃が高く、**出店のハードルが高い。**ハードルを下げる仕組みが必要。（家守の機能、固定資産税の優遇など）
- 行政等の支援窓口ではなく、**気軽に相談できる窓口が必要。**
- **使える公共財はたくさん**ある。使い方を検討する必要。
- イベントを通して**人とつながる**ことも大事。（公園の掃除等）

POINT

- **呉独自の個性的なコンテンツが多数あるが、発信も少なく、あまり知られていない**
- **出店のハードルが高く、気軽にチャレンジがしにくい状況**

第２回戦略会議

THEMA　脈々と呉のまちを支えてきた **力強い女性たち**

基調講演

「まちのこともわたしごと」

矢口氏より、小さな一歩をみんなで踏み出す講座「月3万円ビジネス（3ビズ）」の事例紹介を通して、地域の小さな困り事とワクワクを掛け合わせることで地域に必要とされるビジネスになり得ることをお話しいただきました。また松村氏からは、3ビズやリノベーションスクールへの参加をきっかけにオープンした「シェアアトリエつなぐば」によるエリアの変化や、一人ひとりの暮らしがまちを作ることをお話しいただきました。

講師

choinaca合同会社 代表　**矢口真紀**

法政大学経済学部卒。独立後、2014年に埼玉県杉戸町にUターン。都会でも田舎でもない「ちょっと田舎」で、小さく愉しい自立の形を提案するchoinacaを結成。女性の得意や経験を活かしたスモールビジネスプログラム『わたしたちの月3万円ビジネス（3ビズ）』をはじめ、新しい働き方を全国に広げるプラットフォーム『わたしごとJAPAN』などを展開。公共の駐輪場をリノベーションした実験拠点『しごと創造ファクトリーひとつ屋根の下』仕事づくりを通して地域とつながる「大人の学校」などを運営。

つなぐば家守舎株式会社　**松村美乃里**

武蔵野美術大学卒。空間デザイナーを経て結婚を機にフリーランスへ。2018年6月「欲しい暮らしは私たちでつくる＝DIO（Do it ourselves）」を合言葉に、埼玉県草加市の築35年のアパートをリノベーションした子連れで働けるシェアアトリエつなぐばをオープン。地域の暮らしに根ざした活動を軸にデザイン、古材利活用、ローカルメディアなど展開。2021年から草加市の「3ビズ」をchoinacaから引き継ぎ運営。2022年6月私設図書館さいかちどブンコオープン。2021年「シェアアトリエつなぐば」グッドデザイン賞受賞。

DISCUSSION

・3ビズのような**何か踏み出したい人がチャレンジできる場**が必要。
・**垣根の低いコミュニケーション**が生まれるといい。（呉の商店街ではおかみさんが元気だと商売良好）
・弱さも含め**自己開示できるような場所**、雰囲気づくりが必要。　・**元気な高齢者**が多い。
・支援する場所・人が伝わっていない。　・**女性の活躍できる場**の用意（公共空間等活用）
・**働くから暮らすへ**どう拡張してくのか。（セカンドキャリア等）
・**子育て中は地域との断絶が生まれる**ので手を差し伸べるサポートがほしい。
・**子育て中の女性が少しでも働ける機会**がたくさん出てきてほしい。
・れんが通り界隈にも**子連れで集まれる場**が欲しい。　・**楽しみで商いを回せるライフスタイル**が良いのでは。
・障害のある方も子連れの方も**誰でもこういう機会に参加できる**ようにしたい。
・**趣味を持った60代くらいの女性**が安定して集まる場がない。

POINT

・チャレンジへのハードルが高く、子育て中の女性や高齢者など、まちづくりに参画しづらい人たちがいる
・呉のまちは「強い」イメージに偏りがちだが、「弱さ」も含めて自己開示できる仕組み・雰囲気が今後必要

第3回戦略会議

THEMA　呉のコンテンツ力と豊かな自然・文化を活かした **ローカルツーリズム**

基調講演

「日常という世界の片隅から」

前半では山下賢太氏による、鹿児島県薩摩川内市の甑島での活動をお話しいただいた。観光地ではなく、目的地を育てること大事にされており、空き家を改修し宿を作り、島の日常を価値にするようなツアーや漁師と直接触れ合える企画。その中で、甑島の人をめがけて人が集まるようになってきていることを苦労話を交えお話しいただきました。

東シナ海の小さな島ブランド株式会社 代表取締役
島守株式会社 代表取締役
山下賢太

1985 年、鹿児島県甑島生まれ 。JRA 日本中央競馬会競馬学校中退後、16歳で無職。きびなご漁船の乗組員を経て、京都造形芸術大学環境デザイン学科卒業。日本の水産業に新たな選択肢をつくる FISHERMANS FEST や鹿児島離島文化経済圏を監修。山下商店甑島本店、パンとオソノベーカリー等をはじめ、地域固有の建築空間や公共施設などの小さな拠点の再生に取り組む。農林水産物の生産現場から食卓まで一貫したデザイン経営と、あらゆる地域資源が循環する幸せなもの・コトづくりを通じて「世界一暮らしたい集落づくり」を目指し、新時代の村づくりを実践。

DISCUSSION

・**観光名所でないまちの情報**を届けれたら。
・外から来た人に**面白いものを胸を張って言えるようにな**るといい 。
・**今あるものの見立てを変える**重要性。　・**いろんな呉を案内できる場所**が欲しい。
・苦労している姿を発信することで**共感し、ファンが増える。**そのために、**ファンになる人に優しい街**になる必要。
・**このまちが大好きと思えるきっかけ**は作れるかもしれない。　・**呉の方言は財産**ではないか。
・挨拶をしたり、物々交換をするような**近所付き合いも大事。**　・路地が多いのを活かして**迷路にして楽しむ。**
・**国内有数の長い海岸線**を活かせれないか。　・**観光＋教育**をすることで、**雇用**につなげられないか。
・大和ミュージアムはすごい人数を集めているけど、もっと**1日かけて暮らすように色んな呉を体験できる**といいんじゃないか。

POINT

・観光的なものではなく、日常的な「暮らし」の中に魅力がある。
・まずは自分たちが呉の魅力を再認識し、呉を大好きになるきっかけをもつことが必要

第４回戦略会議

THEMA　構想・提言の中間発表を踏まえたディスカッション

基調講演

「“遊び”がつくる地方の寛容と幸福」

講師の島原氏が行っている調査結果から、地方創生には都市の寛容力が密接に関わっていることがデータ的に示されており、寛容力は文化的水準の満足度との相関関係があり、その都市にどれだけ遊び（文化教養や、スポーツ、レジャー）があるのかが大事であることをお話しいただきました。

株式会社LIFULL　LIFULL HOME'S総研　所長
島原万丈

1989年（株）リクルート入社。グループ内外のクライアントのマーケティングリサーチ及びマーケティング戦略策定に携わる。2005年よりリクルート住宅総研へ移り、ユーザー目線での住宅市場の調査研究と提言活動に従事。2013年3月リクルート退社、同年7月株式会社LIFULL（旧株式会社ネクスト）でLIFULL HOME'S総研所長に就任し、2014年『STOCK & RENOVATION 2014』、2015年『Sensuous City［官能都市］』、2017年『寛容社会多文化共生のための〈住〉ができること』、2018年～2020年『住宅幸福論 Episode1 ～3』、2021年『地方創生のファクターX』を発表。主な著書に『本当に住んで幸せな街　全国官能都市ランキング』（光文社新書）がある。

● 3回の戦略会議を経て、出てきた「キーワード」を整理

活かすべき資源

- **骨太でタフ**なまち
- 世界に誇る**重工業・技術力**
- 人材・素材が豊富
- 多様性を受け入れ生まれた**独創力**
- 独自の**食文化**
- **媚びない**まちの魅力 経済合理性だけでない
- フランチャイズが少ない **個性ある店**
- **豊かな社会資源**

個々の世界観を持つ豊かな
独創力

×

今後必要なこと

- 強さばかりでなく **弱き声を聴く**
- **自己開示**の場づくり
- **垣根の低い**コミュニケーション
- **多様な資源**の再編集
- 多様性の**可視化**
- **伝える力**を育む
- 独自性の**繋がり**

お互いを活かし合う
寛容力

独創力　×　寛容力

この２つを融合することで、
より呉の魅力を引き出すことができるのではないか

DISCUSSION

「強い」「個性的」なイメージの裏側にある 呉の課題意識と可能性

「最強偏愛都市 呉」を仮説として始まった議論は、戦略会議を通じて**呉の「強さ」はその多面性の一部に過ぎない**ことや、「弱さ」の自己開示のしづらさ、**新しいチャレンジへの閉塞感が存在すること**が明らかになりました。
そして多くの委員に、これらに対する**課題意識があること**が明らかになりました。

構想に向けたキーワード

多様な「私だけの愛」を「私たちの愛」に編み上げる

愛編む呉／I am KURE

？ この「仮説」が呉のまちが目指すビジョンなのか？
第５回戦略会議に向けて、ブラッシュアップしていきます。

第５回戦略会議

THEMA	構想の発表と、委員による提言の発表

第5回戦略会議の前半は委員から提言の最終案を発表いただき、後半は第４回でも講演いただいた島原さん・委員長大島さんが、提言を受けてこれから呉はどうあったら良いのか、未来に向けてのトークセッションを行いました。
また、第５回戦略会議の前週に行われたリノベーションスクール@呉に参加した委員から、新たな“呉らしさ”についても意見が出され、構想がブラッシュアップされました。

● 委員による提言の発表

**市民がまちを使いこなせるまちに。
使いこなし方を分かりやすく、
体系化したい。**

アクションチーム

**１歩ではなく、0.1歩目支援を行い、
誰もがチャレンジできるまちへ。
好循環のサイクルを生み出す。**

システムチーム

提言のまとめ ｜ チャレンジに寛容なまちへ

・それぞれのチームが**“なんとかしたい！”と思うところは同じ**と感じる。いろんな人がチャレンジできるんだ！という希望が、現状ではまだ足りていないということだと思う。

・最終的な発表を聞くと、両チームやはり一緒。考えればここに行き着くんだなと。

・まちのプレイヤーと言われている人と、市民がほぼ同義になる日が来るのではないか。そういう意味でも、**誰でもチャレンジし、失敗できるまち**にしたい。

● 提言を踏まえた構想のブラッシュアップ

第４回戦略会議でまとめられた、構想に向けたキーワードに関して違和感を感じる委員も...

愛編む呉／I am KURE

「偏愛」と言っているからちょっと面白くなってるけど、**「愛」だけになると呉らしくない**と感じる

「愛」とか「好き」とか、**「呉愛」のことを言われると急に野暮**な気がしてしまう

「第5回リノベーションスクール@呉」にてこんな一幕が...

このお店は**「粋な人」**が集まったお店だったんだよ
旧純喫茶ぶらじるオーナー

たしかに、呉の人って**「粋」**だよね
リノベーションスクール参加者

第５回戦略会議前のリノベーションスクールで 粋 というキーワードを発見

九鬼周造著の「「いき」の構造」を元に「粋」とは何か？と考えると
光が強かったから影ができ、それが同居した姿が「粋」だとすれば、その「粋」を発掘して現代風に仕立て直していくことがこれからの作業かなと思う。

島原万丈氏からもこんなコメントを

・今を生きる我々が何を継承して、何を残していくのかを考えることが大事ではないか。そして**継承すべきは精神性**なのではないか。
・我々の中では**「粋の継承」**というのが良いのではないか、という意見になった。
・常に供給し続けないといけないのは**人の思いや、人との繋がり**。
・このまちに**「粋」というのはすごくしっくり**くる。
・この構想は**「自分たちが支えていくんだ」**という、まさに**「粋」で作られている**ような気がしている。

呉の生活文化に見られる「粋の構造」

2-5 会議のまとめ

戦略会議の冒頭に設定した呉のまちに対する
『見立て』＝仮説 の変遷

仮説の前提条件	呉の人々は、誰もが共有可能な 呉に対する**「呉プライドと呉愛」**を持ち合わせている 国防を支えた歴史、世界に誇る重厚長大産業など

仮説 ver.1

最強「偏愛」都市・呉

一方で、呉のまちには、**「パーソナルな愛＝偏愛」**が
個性的なコンテンツとして溢れ出ている。
「偏愛」によって育まれた個々の「強さ」こそが呉らしさではないか？

会議を受けて...

呉の「強い」「個性的」なイメージは、あくまで呉のまちが持つ一つの側面であり、これからはその裏側にある「弱さ」を開示していけることが重要であると指摘されました。

仮説 ver.2

偏愛を「編む」呉

呉の強みである「偏愛」を育むためには、
弱さを開示できるような「寛容力＝編む」ことが必要である。
「偏愛」にパブリックな要素を持たせることが呉らしさではないか？

会議を受けて...

「寛容力＝編む」という考え方が重要である一方、呉のまちを「愛」という言葉で表現することは適切か？という議論がされました。

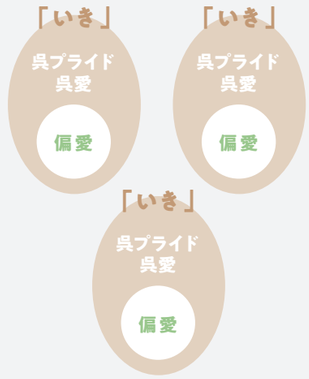
2-6 構想

呉のリノベーションまちづくり構想

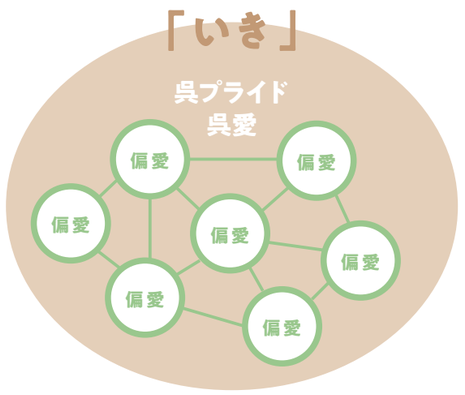
「呉プライドと呉愛」に内包されていた「偏愛」を認め合うことが「いき」であり 呉のまちが引き継いでいくべき精神性

呉の人々は鎮守府開設以来の輝かしい歴史ゆえ、誰しもが同じ「呉プライドと呉愛」を共有しています。
一方で各々の内面には個性豊かな「偏愛」が育まれてきました。**光に対する内なるパーソナルな影の共存。**その構造は「粋」の構造と似通っています。呉の文化独自の本質的な魅力はこの入れ子構造にあることがわかってきました。
これからの呉に必要なことは、この**個性あふれる「偏愛」を認め合い、「粋」の構造同士をつなぐ**こと。
『「いき」をつなぐ』というビジョンが大切であると本構想はまとめました。

これまで
一人ひとりが「いき」の種



これから
新しいシビックプライド と 地域価値



呉プライドと呉愛＝ 呉市民のコンセンサス　歴史・誇り
偏愛＝ 各々の世界観によって育まれた個性・価値観

「いき」をつなぐ、「いき」な呉

COLUMN

もともと寛容性は、ヨーロッパにおいて長く続いた過酷な新旧の宗教対立を調停するために編み出された平和のための概念でした。戦争の和平交渉の前提となったのは、お互い他国の信仰には干渉しないという取り決めです。このことから寛容という言葉には、自分は是としない他者の意見や振る舞いを「我慢して受け入れる」という意味合いがあります。
ヨーロッパ諸国が寛容性によって獲得した信仰の自由は、やがて政教分離の近代国家の土台をつくり、個人の自由を拡大し、科学技術を発展させ、民主主義と資本主義を育てました。つまり、いま私たちが生きる世界の根幹を支えているのは寛容の精神だと言っても過言ではないのです。

なぜ寛容性が社会を発展させるのか。それは寛容性が個人の自由を認め合うことで社会の多様性を高めるからです。多様性は、これまでの定説や常識に対する異論反論を認め、新しい仮説と挑戦を生み出す土壌を耕します。このことは、現代のまちづくりにおいても寛容の精神が必要不可欠なことを示しています。
不寛容なまちでは権力を持つ人や権威のある人の古い価値観や多数派の意見にたとえ違和感があったとしても、立場の弱い人や少数派は逆らうことが許されません。すると新しい価値観や感性をもつ若い人ほどまちを捨て自由な都会へ出ていきます。よその地域からの移住者は定着しません。新しいアイデアは頭ごなしに否定されるので、まちに残る人たちの間にもあきらめと閉塞感が広がります。このようにして不寛容なまちはだんだんと硬直化し、変化のチャンスを掴み損ね続け、衰退が加速することになります。
多様性とは決してきれいごとのお題目ではありません。さまざまな領域で変革がもとめられる地方都市においては、もっとも切実な目標と言えるのです。

株式会社LIFULL
LIFULL HOME'S総研 所長
島原万丈

第４回戦略会議の基調講演および本コラムは、下記レポートを基に作成されています。

地方創生のファクターX
寛容と幸福の地方論

"遊び"からの地方創生
寛容と幸福の地方論Part２

地方創生の希望格差
寛容と幸福の地方論Part３

CHAPTER 3

構想に基づく提言

「いき」をつなぐ、「いき」な呉

※このイラストは，めざす呉のまちの姿をイメージしたものです。

呉リノベーションまちづくり戦略会議

Team_Action
わたしたちの呉をさらに魅力的にするアクション

アクションチームの **指針**

魅力的なまちってどんなまち？
市民がまちを使いこなせるまち
☞
使いこなしやすいまちをつくる

アクションチームの **行動**

使いこなしたい人に、その使いこなし方を示す
何かやりたいと思っている人に「それならできるかも！」と思ってもらえれば一歩前進！

じゃあ、どうする？ **民間①**
自分たちが経験した使いこなし方を示し、その方法を一般化する

じゃあ、どうする？ **民間②**
さらなるアクションを起こし、使いこなし事例を増やしていく

じゃあ、どうする？ **呉市の役割**
公共空間の使い方をより分かりやすく市民に見せる工夫を！

アクションチームの **使いこなし事例**

蔵本通り再生プロジェクト UNITED PARKS

実施者：市内企業の有志組織 一般社団法人クレバス

公園はもっと市民活用ができる！

GOAL 目標：「観光の賑わい」と「魅力ある暮らし」を意識して
“この地に住む理由”をつくる

内容
① 街の森のアトリエ（2018年～）
公園を使用した社会実験型イベント
② GREEN DAY（2022年～）
公園の掃除イベント

Process 実現への過程
STEP 1 賛同企業・組織・個人に協力依頼
STEP 2 各種手続き 1）公園使用許可 2）保健所への届け出 3）消防署への届け出 4）保険加入
STEP 3 出店条件の決定
STEP 4 都市再生推進法人の認定

NEXT! Action 2023年12月～2024年2月
公園トライアルサウンディング
（NPO法人SYLなどと共同実施）

大型マルシェイベント あさまち

実施者：中央地区に特化したまちづくり会社 NPO法人 SYL

チャレンジの場をつくると
次のチャレンジが生まれる！

GOAL 目標：**賑わいが溢れる日常を生むこと**

それは未来の呉を投影する理想の空間

内容
公園やれんがどおりを使用した
朝（9:00～13:00）開催の
大型マルシェ（2015年～）

Process 実現への過程
STEP 1 まちの先輩に相談
STEP 2 呉市（観光振興課）に相談
→民間主体開催のアドバイス
＆川沿いの公園を紹介
STEP 3 堺川沿いで開催決定
1）公園使用申請
2）飲食店の保健所申請
※路面使用の場合は警察にも
STEP 4 出店者募集

NEXT! Action 2023年12月～2024年2月
公園トライアルサウンディング
（一般社団法人クレバスなどと共同実施）
日常のにぎわい「呉バル」への発展

入船山秋祭り @美術館通り

実施者：市民有志の協働企画 入船山秋祭り実行委員会

公共施設は市民がもっと活用できる！

GOAL 目標：子どもたちがまちの大人と交流しながら
十分な **文化体験ができるまちをつくる**

内容
呉の歴史と文化をコンセプトにした
イベント（2017年～）

Process 実現への過程
前身「トビキリ夏祭り」（市民有志による子ども向けイベント）
STEP 1 美術館通りでの開催希望
STEP 2 美術館通りの使用を呉市土木総務課に相談
→前例は無いが禁止する法令は無いので相談可との回答
→道路占用申請を作成・受理
STEP 3 警察に道路使用許可申請・受理
STEP 4 各所と実施内容や連携企画を調整
※入船山記念館、呉市立美術館ともに呉市の所有施設

NEXT! Action
幸町・入船山エリアの活用提案
文化拠点整備の提案

不動産仲介業によるリノベーションまちづくり

実施者：（株）エイトホーム

不動産の使い方は変えられる！

GOAL 目標：**誰もが住みたくなるまちづくり**

自由なライフプランが選択可能な
豊かな暮らしの創造

内容
入居を増やすための
家賃・テナント料の適正化

Process 実現への過程
STEP 1 《仲介事業者》社会情勢や現状を把握し家主に適正な家賃を提案する
STEP 2 《家主》一定期間家賃を下げ入居者を増やすなど工夫を
STEP 3 《行政への提案》固定資産税を下げるまたはそれに変わる補助を

NEXT! Action
「誰もがここに住みたくなるまちづくり」を目指し
時代に即した仲介事業を行う

呉市昭和地区広報誌 きよみん通信

実施者：NPO法人 昭和まちづくり協議会 × 地域住民・事業者

既存の地域発行物を見直せば
新しいものができる可能性も

GOAL 目標：自分が暮らすエリアの今を知ることによって
このまちをもっと好きになる

内容
一般的な地域広報誌の役割に
加えて昭和地区で輝く
人や取り組みを紹介

Process 実現への過程
STEP 1 前身「広報昭和」のマンネリ化
STEP 2 まちづくり協議会より依頼を受ける
STEP 3 読み物としての広報誌を提案
☞ きよみんがゆく ：人物・場所紹介
☞ おしえてきよみん：地域の動きを深堀り
STEP 4 業務受託し編集・取材・デザインを一貫して担当

NEXT! Action
呉市内すべてのエリアの「今」を知ることができる
広報誌ネットワークの構築

夜の地図・宿の地図・湯の地図 呉の地図づくり

実施者：呉の地図つくり隊（呉観光協会／NPO法人呉サポートセンター くれシェンド／hinekure design）

見方を変えれば
まちにあるものすべてが資源

GOAL 目標：**シビックプライドの醸成とそれに伴う観光の発展**

内容
呉の歴史や地域特性が
読める地図の発行
「夜の地図（スタンドバー）」
「宿の地図（宿泊施設）」
「湯の地図（銭湯と湯上りの一杯の店）」

Process 実現への過程 【夜の地図の場合】
STEP 1 呉観光協会より呉スタンドバー組合に呉の文化としての「スタンド」地図の作成を提案
STEP 2 3年後、組合が具体的に検討の意向
STEP 3 呉市の特徴を紹介できる地図にしたいと呉観光協会よりくれシェンドに相談
STEP 4 魅力的なデザインをと呉市のデザイナーに相談
STEP 5 3者でチーム結成
STEP 6 組合店舗すべてへのヒアリング実施

NEXT! Action
さらなる魅力発見と新しい地図の作成
MAPのWeb化
既存組合のあり方見直しと活用

横糸で編む

システム分科会
提言

VISION
- 誰もがチャレンジできるまちへ
- 好循環のサイクルへ

GAP
【課題】
横糸の欠如
不寛容な空気

現状
- プレイヤーの固定化（孤立化）
- 市民の関心や自己効力感の低下

相談できる仲間がいない
あんな風に私にはできない
やっても どうせ無駄

SOLUTION

人的資源の支援（横糸機能）

- 3つの“*0.1歩目*”支援（まち×メディア・アプリ・1on1）
- まちづくりのプロセスを可視化・共有

・歴史的資源の情報
・プレイヤーの経験談

困ったらまず↓

まちの傾聴力
（寛容性の向上）
・心理的安全性が向上

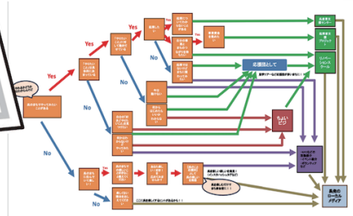
まち1on1

まちの傾聴力
（振り返りの強化）

まちメディア

まちアプリ

成功も失敗も言語化
(みんなの経験に)



マッチング

まちづくりのプロセスを可視化

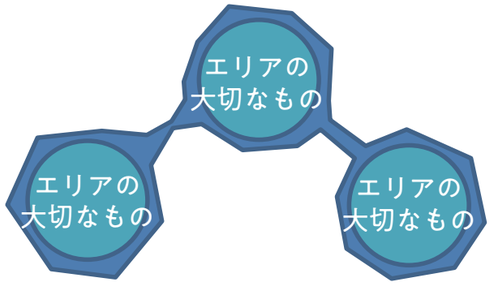
・窓口の一元化
・自己理解の支援
・段階に応じてまちの学び支援とマッチング
・支援ニーズの把握

まちの課題を可視化

まちの支援者を可視化

提言を受けて市役所・関係団体の委員からコメントをもらいました！

呉中通商店街振興組合



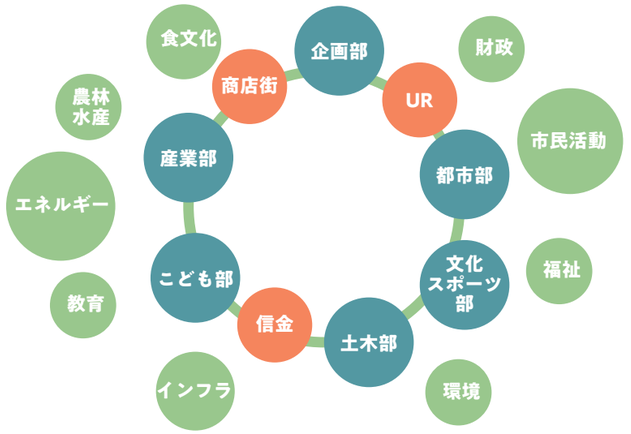
エリアの大切なものを蘇らせ、活力を再生させていくことが大切

リノベーションまちづくりは少子化の進む地域にとって、人工透析と同じように**血液を入れ替え活力を再生する**重要な施策となると思います。そこには「温故知新」の精神が内蔵されていて、私たちが住んでいる**エリアの大切なものを蘇らせる**能力があると思います。
一市民としても、次々にリノベーションされていく街を楽しみにお手伝いができればと思います。

呉中通商店街振興組合　理事長　小松慎一

これからの呉市と関係団体は分野横断的な議論をすることが大切

リノベーションまちづくりは、産業部だけでなく**各部署分野横断的な連携**が必要です。取組の内容に応じて、その連携がスムーズに運ぶよう**産業部がハブとなり事業推進**していければと思います。将来的には民間が主体となり取り組んでいくべきですが、今はリノベーションまちづくりに関わる新たなプレイヤーや遊休不動産を発掘するための仕組みづくり、また事業承継など事業そのもののリノベーションに関する**仕組みの構築は、公共と支援機関が担っていくべき**と考えます。また公共空間の利活用に関して、使いこなすための創意工夫は民間が、**使いこなすための手続き等を円滑にする仕組み**は行政が行っていく必要があります。この双方の取り組みが、互いに協力し呼応し合ってこそ、街のリノベーションに繋がっていくと思います。
呉市に住み呉市で働く全ての人が、私たちの街「呉」がこれからどのような街になって欲しいか考えて欲しいです。そのためには、呉の街を知ることが第一歩です。街に出て歩いてみましょう。その上で「誰かがやる」ではなく、少しでもいい、どんな形でもいいから、街に関わって欲しいと思います。



呉市理事 兼 産業部長

企画部長

呉を思う人が様々な立場から話し合い温かい取組を生み出していくことが大切

呉の特徴を紐解いていく中で、呉の強みや苦手なところが見えてきました。**一人ではなく、様々な立場から話し合う**ことで、一歩踏みだすための具体的な仕組みを提案することができました。残るはこのシステムを誰がどう動かし、呉で起業したり、まちづくりに参画したいと思う人たちを取り込んでいくかだと思います。そのためには、呉を想う人が必要です。呉を好きな人なら誰でもできるのかなとも思います。
呉に人を惹きつけ、起業やまちづくりに繋げていく、そういった**呉を想う人による温かい取組**が、呉のリノベーションまちづくりには欠かせないと強く感じます。

市役所・関係団体の皆さんが考えた今後に向けてのアイデア

私が考える、商店街としてできること

商店街

・商店街を中心としたエリアの**賃貸物件情報、大家情報の提供、橋渡し。**
・対象者へのエリアの文化的社会的背景、コミュニティー、イベント等の情報提供
・事業承継を考えている事業主への情報提供とご縁結び仲人
・**家守会社を設立する場合、出資**を考えるかもしれません。
・商店街店主にはリノベーションという感覚を自分の稼業、お店でも勉強していただき、**発想を柔軟に時代の流れを越えて行くチャレンジ**をしてもらいたいと思います。

私が考える、金融機関としてできること

地元
金融機関

地域金融機関としてのリソース**「情報」「ネットワーク」「金融」は最大限に活用**されるべき思います。具体的には、当金庫が別法人で運営する「アクティブベースくれ・グッドラック」の活用や、国や自治体などの補助金制度申請支援のサポートなどが考えられます。他にも、審査基準や制約はありますが、共催や協賛等による対応も実績としては多くあります。
金融機関として、リノベーションまちづくりに関わるプレイヤーが持続的に事業を行っていくための**融資や助成金・補助金活用などのサポート**を中心に、地域情報や事業の裏側で必要なオペレーションや**事業計画の策定支援**、全国の信用金庫や金融機関とのネットワークを活用した**マッチング支援**など、積極的に行ってきたいです。
また、これらの取り組みを進めている金融機関として認知いただけるよう、**地域やコミュニティとの繋がり**を重要視していきたいと考えています。

私が考える、URとしてできること

UR都市機構

まちづくりを支援する公的機関であるURができる事としては、委員として参加している他のまちづくりに関する検討会議（まちなか公共空間デザイン会議、呉駅周辺地域総合開発事業推進会議）や中心市街地を俯瞰した上で、本構想との連携・相乗効果、**さらに必要な施策について、呉市の検討を支援**することができると考えます。

市役所

産業部長、企画部長、土木部長、都市部長
こども部長、文化スポーツ部長

市民がまちとの関わりを増やし、チャレンジしたくなる仕組みづくり

・地元住民や事業者が地元を体験する**呉市版「オンパク」**※の開催
（※オンパクとは地元住民や事業者が，小規模の体験交流型イベントを企画し，一定期間に集中して開催するイベント）
・にぎわい創出を担う関連団体の意見・提案に耳を傾け，連携の強化を図ります。その中で，関連団体の方々が柔軟にイベント等を開催できるよう助言・フォローしていきます。
・起業やまちづくりの参画等のニーズ聞き取り
・多様なニーズに応えるサポート体制の整備、既存組織との接続
・必要な第一歩を踏み出せる**ハードルの低いサポート**
・呉のまちづくり（起業）に関心のあるターゲットを引き寄せる仕組みづくり
・誰一人取り残さない「こどもまんなか」をこれからの社会の共通前提に

プレイヤーや企業を発掘し、連携を促進する仕組みづくり

・地元運営による**リノベーションスクール**の開催
・地元企業のまちづくり参画を促す**企業版リノベーションスクール**の開催
・プレイヤーと空間資源を結びつける新たな仕組み**「さかさま不動産」の運用試行**
・事業承継を「事業のリノベーション」につなげるための**マッチングプラットフォームの運用試行**

公共資産を民間で活用しやすくする、情報提供

・管理者（市）が**目的外使用許可の手続きをモデル化**し，提示
・目的外使用が可能な**施設等のカタログ**（標準的な使用例や使用料など）を提示
・PFIを含めた行政資産活用に関する**市民向けの相談窓口**（担当）の設置
・普通財産については，売却・活用可能な施設等が分かるように施設等のカタログを提示（活用事例は適宜カタログにフィードバック）
・情報提供。情報の発信には，**市のホームページなどを活用**して，公園の情報に触れやすく利用しやすい環境を整えていくことを検討
・**新しい考え方・新たな制度**等に関する情報を積極的に発信
・**公園に関する基本情報の提供**。どのような公園であるかを知ってもらため，公園の特徴，ルールなどの基本情報や，これまでに実施されたイベント情報などの提供を検討
・市が許可をした公園内でのイベントやプログラムの開催情報の積極的な発信の検討
・公園の整備維持。公園の計画や維持管理において，アンケートやワークショップなど市民参加の機会を増やしニーズに対応した整備・維持・管理とすることを検討

構想策定委員の皆さんからコメントをいただきました。

下野 隆司

この構想で後押しされた誰かの「やりたい！」が変える街の将来が今から楽しみです！

小野 香澄

このまちの多様さを表出させていく。まちに主体的に関わる人を増やしたい。呉はもっと、愉しくなる！

澤井 弘徳

呉への熱い思いをもって取り組んできた委員会であれば早い段階で豊かな未来への「道しるべ」をつくっていけると思いました。

山根 麻里

暮らしの中で、楽しみながら「小さなチャレンジ」をする人が増え、それに「聞き耳」を立てる人が増えてくような呉を目指していきたいです。

村山 ゆかり

リノベまちづくりはこのまちに暮らすみんなが主役。誰でもその想いを広げられる舞台が呉にありました！

中本 尋之

生まれてからずっと過ごす空気のような存在の地元を考え、学び、意見を交わす機会はとても貴重な経験でした。

河崎 圭一郎

街に関わる人が増えればもっと街は楽しくなる。大人が楽しめば子供もハッピーになる♪皆で呉を使い倒し、楽しみましょう！

片山 仁志

立場は違えど、呉が大好きな方々と議論できてとても有意義な時間をすごせました。

松川 昌司

呉の活性化に携わる方々と協議できたことは、大変良い機会となりました。地域金融機関として、今後も後押しできること進めていきたいと思います。

谷村 仰仕

立場や世代を越えて委員の皆さんと重ねた対話は夜空に見つけた北極星のようでした。

土屋 禎

参加者皆様の呉への「偏愛」に満ちた時間、呉色に染まる自分がそこにいました。

小松 慎一

現在、そしてこれから「まちづくり」に関わっていこうと思う方の道しるべが作れました。

谷川 智明

出会い、学び、語り考えたものをカタチにできて感謝しています。このご縁を生かして、ひろげて、つなげて行きましょう！

倉員 伸明

多くの人が呉のまちを変えたいと思っていて、それをつなげることが大事と感じました。

安倍 広志

呉を愛し、未来を描く、熱く濃厚な時間が共有できて嬉しかった。呉はもっと輝ける！！

是貞 聡志

呉のまちには、セクションを超えて話し合うと夢が広がるステキな人材がたくさん居ることが分かり、未来に希望が持てました。

寺嶋 文秀

呉のまちづくりを真剣に議論する皆さんの姿にこの街のパワーを感じました。

荻野 晋

この構想をスタートとして、呉の明るい未来に向け、みんなでチャレンジしましょう。

松川 隆志

公共空間でみなさんのやりたいことを一緒になってチャレンジしてみませんか？

第1回 戦略会議

日時：2023年1月13日(金)18:00~20:30
場所：呉森沢ホテル1階「飛鳥」（本町15－22）

テーマ：呉のサービス産業
講師：株式会社RETOWN 代表取締役 松本 篤
講演タイトル：公民連携で行うローカルディベロッパー事業
開催概要：前半では講師の松本篤氏より、大阪市生野区での小学校の廃校活用をした「いくのパーク」の事例を通して、具体的な開業までのプロセスや、運営のポイントを伺いました。居住する人には海外の人が多いことを、エリアに新たな全国No1.グローバルタウンという役割を見出し、その上で様々な課題を解決し、エリアの価値が上がることをシナリオに挙げられ、実践を始められていることを共有いただきました。後半委員メンバーと共に、呉のサービス産業においてディスカッションを行いました。

第2回 戦略会議

日時：2023年2月25日(土) 14:30~16:30
場所：ビュー・ポートくれ3階大ホール（中通1丁目1－2）

テーマ：呉の女性とまちの未来
講師：choinaca合同会社 代表 矢口 真紀
つなぐば家守舎株式会社 松村 美乃里
講演タイトル：「まちのこともわたしごと」　開催概要：前半では矢口真紀氏より「月3万円ビジネス」という小さな1歩ををみんなで踏み出す講座を事例をもとにお話しいただきました。地域の小さな困り事とワクワクを掛け合わせることで地域に必要とされるビジネスになりううことを教えていただきました。また。松村美乃里氏からは受講した3ビズを通して感じたことや、地域のつながりの必要とされるニーズを組み、リノベーションスクールを通して「シェアアトリエつなぐば」をオープンされて変化を生み出されていることや、顔の見える関係性がうみ出され、1人1人の暮らしがまちを作ることをお話しいただきました。後半では委員の方、会場の方とグループに分かれ呉の女性とまちの未来についてディスカッションをしました。

第3回戦略会議

日時：2023年4月20日(木) 18:00~20:30
場所：ビュー・ポートくれ3階大ホール（中通1丁目1－2）

テーマ：呉のローカルツーリズム
講師：東シナ海の小さな島ブランド(株)　代表取締役 山下 賢太
講演タイトル：「日常という世界の片隅から」
開催概要：前半では山下賢太氏による、鹿児島県薩摩川内市の甑島での活動をお話しいただきました。観光地ではなく、目的地を育てること大事にされており、空き家を改修し、宿を作ったり、島の日常を価値にするようなツアーや漁師と直接触れ合える企画をし、甑島の人をめがけて人が集まるようになってきていることを苦労された話を交えお話しいただきました。後半では委員と参加者が混ざって複数のグループを作り、呉のローカルツーリズムに関してディスカッションを行いました。

第4回戦略会議

日時：2023年8月24日(木) 18:00~20:30
場所：ビュー・ポートくれ　3階大ホール（中通1丁目1－2）

講師：（株）LIFULL LIFULL HOME'S総研 所長 島原 万丈
講演タイトル：「"遊び"がつくる地方の寛容と幸福」
開催概要：前半ではこれまで実施した全3回の戦略会議を振り返った上で、その中で、キーワードにもなっていた寛容力の観点を交えて、島原万丈氏の全国調査されたレポートの内容を踏まえお話しいただきました。都市の魅力は寛容力と幸福であり、それらはどれだけ遊びがあるのかということをお話しいただきました。後半では、委員より検討された提言の内容を2チームに分かれ発表を行いました。予定ではその後参加者と委員が一緒になって議論予定でしたが、時間の関係で、全体で感想を共有し合いました。また、ディスカッション時にいただく予定の内容は、アンケートで回収させていただきました。

第5回戦略会議

日時：2024年2月3日(土)　14:00~16:30
場所：呉森沢ホテル（本町１５－２２）

開催概要：前半では大島委員長より、構想の説明があり、これまでの議論の変遷を交え、呉のビジョンの共有がされました。その後、アクションチーム、システムチームからの提言を発表してもらい、後半では前半の提言の内容を踏まえながら島原万丈氏と大島委員長の未来へのトークセッションを行ないました。愛編む呉ではなく、「粋」と言う言葉がいいのではないかと言う委員からの提案を受け、粋と言う言葉を深めていく時間、そして委員の提言を深めるような時間となりました。

委員会①

日時：2023年6月26日(月)　18:30~21:00
場所：ビュー・ポートくれ３階大ホール（中通１丁目１－２）

内容：　実施済み3回の戦略会議の振り返りを行なった後、グループ分け（アクションチーム、システムチーム）を行い、それぞれのチームで、検討できそうなことの議論を行ないました。また、議論の続きはそれぞれのチームで分科会で議論しました。

委員会②

日時：2023年10月18日(水)　18:00~20:30
場所：ビュー・ポートくれ２階大会議室（中通１丁目１－２）

内容：今後の構想作成の流れの共有し、第４回戦略会議を受けアップデートした内容を各チームから発表してもらいました。その後、アクションチーム、システムチームの混合のチームで、グループワークを行い、これまでに議論していないことや、違和感に感じている内容を共有しました。また、その内容をチームに持ち帰り議論をしてもらい、提案資料へ落とす方法を具体的に検討を行ないました。

アクションチーム分科会①
日時：2023年7月24日(月) 18:30~
場所：space1015レンタルスペース（中通4-10-15）
内容：各委員実行していること、実行したいことの共有

アクションチーム分科会②
日時：2023年8月17日(木) 18:30~
場所：市役所6F 601会議室
内容：第4回戦略会議に向け、
発表内容のブラッシュアップ ・発表方法の検討

アクションチーム分科会③
日時：2023年10月4日(水) 18:30~
場所：市役所5F 501会議室
内容：　・構想案「愛編む呉」への意見出し
・提言資料の編集方法の議論
・構想資料（案）への議論

システムチーム分科会①
日時：2023年7月23日(日) 18:30~
場所：Soen（三条３丁目2-10）
内容：
・委員会の内容の振り返り
・構想案「最強偏愛都市呉」への意見出し
・出来ることのアイディア出し

システムチーム分科会②
日時：2023年8月11日(金) 18:30~
場所：Soen（三条３丁目2-10）
内容：
・前回分科会の振り返り
・提言アイディアのブラッシュアップ
・第４回戦略会議発表方法に関しての議論

システムチーム分科会③
日時：2023年9月30日(土) 18:30~
場所：Soen（三条３丁目2-10）
内容：
・前回分科の会振り返り
・具体アイディアのブラッシュアップ
（フローチャート、メデイア、1on1）
・構想案「愛編む呉」への意見出し

システムチーム分科会④
日時：2023年12月2日(土) 18:30~
場所：Soen（三条３丁目2-10）
内容：
・構想資料(案)への意見出し
・システムチームとしての提言のまとめ方の議論

＜各支援機関支援内容＞

支援機関		呉商工会議所 呉地域中小企業支援センター	呉広域商工会	（公財） ひろしま産業振興機構 ひろしま創業 サポートセンター	（株）日本政策 金融公庫 呉支店	呉信用金庫 呉創業支援ネットワーク（事務局） （公社）アクティブベースくれ	(株)もみじ銀行	(株)広島銀行	広島県中小企業家 同友会　呉支部	（公財）くれ産業振興センター	呉市　商工振興課
概要（こんなことができる）	（1）相談	●総合相談 ・マネージャーによる相談（各種補助金，助成金案内含む） ・創業支援等事業計画策定支援 ・広島県事業承継・引継ぎ支援センターへの橋渡し ・金融機関への橋渡し ●専門家の派遣 ・独自の派遣（１回/年） ・中小企業119（通常3回/年） ●マッチング ・先輩創業者とのマッチング	●総合相談 ・経営指導員による相談（商品開発，販路開拓，資金繰り，収支計画策定，創業補助金案内含む） ・創業支援等事業計画策定支援 ・金融機関への橋渡し ●専門家の派遣 ・独自の派遣（3回/年） ・中小企業119（通常3回/年）	●総合相談 ・創業マネージャーが創業に関する悩みや疑問をお聞し課題解決に務める窓口相談 ●専門家の派遣 ・創業サポーターとして登録している幅広い分野の専門家を派遣（延べ24時間まで無料）	●総合相談 ・専任の担当者による相談（創業サポートデスク設置） ・創業支援等事業計画策定支援 ・各支援機関への橋渡し	●総合相談 ・創業支援窓口（各種補助金案内含む） ・創業支援等事業計画策定支援 ・各支援機関への橋渡し ・クラウドファンディングの活用支援 ●専門家の派遣 ・中小企業119（通常3回/年）	●総合相談 ・窓口での創業相談（各種補助金案内含む） ・創業支援等事業計画策定支援 ・各支援機関への橋渡し ・よろず相談会の定例開催（広島県よろず支援拠点共催） ●専門家の派遣 ・広島県よろず支援拠点のコーディネーター等への相談	●総合相談 ・窓口での創業相談 ・融資全般の相談 ・創業支援等事業計画策定支援 ・＜ひろぎん＞創業サポートサービス ・各支援機関への橋渡し	●総合相談 ・窓口での相談（「先輩経営者の話が聞きたい」などのよろず相談でも大丈夫）	●総合相談 ・窓口での相談（特許，実用新案，商標，意匠等の知的財産に係る総合支援窓口）	●総合相談 ・呉市職員による相談（呉市の有する創業融資制度，助成制度の案内） ・各支援機関への橋渡し
	（2）補助金・資金調達				●融資制度 ・創業に関する融資制度	●融資制度 ・創業に関する融資制度 ●補助金・助成金 ・起業・新規事業助成金「幸運（グッドラック）」の運営	●融資制度 ・女性活躍応援融資（愛称：イロハモミジ）の取り扱い ・創業に関する融資制度 ●補助金・助成金 ・ＹＭＦＧ地域企業助成基金 ・クラウドファンディングの活用（ＫＡＩＫＡ）	●融資制度 ・創業に関する融資制度		●補助金・助成金 ・産学官連携スタート補助金	●補助金・助成金 ・起業家支援プロジェクト
	（3）セミナー・その他	●創業・起業に関するセミナー開催 ・経営革新セミナー ・共催している各セミナーの案内	●創業・起業に関するセミナー開催 ・共催している各セミナーの案内 ●その他 ・クレ１グランプリの開催・出品（３段階～） ・オールクレ・クレコレバイヤーズ商談会の開催・出品（３段階～）	●創業・起業に関するセミナー開催 ・創業チャレンジセミナー ・各ワークショップ、講演会、交流会の開催 ・共催している各セミナーの案内	●創業・起業に関するセミナー開催 ・創業計画書作成講座 ●その他 ・起業家応援マガジンの発行	●創業・起業に関するセミナー開催 ・女性の創業セミナー ・共催している各セミナーの案内 ●その他 ・経営支援クラウドサービス「Hiroshima　Big　Advance」を活用した販路開拓支援（3段階～）	●創業・起業に関するセミナー開催 ・共催している各セミナーの案内	●創業・起業に関するセミナー開催 ・専門家によるセミナー開催 ●その他 ・助成金・補助金自動診断システム	●その他 ・経営者・後継者のための勉強会（社長の学校） ・経営指針・経営計画作成のための勉強会 ・社員のための合同研修 ・新卒学生のための合同企業説明会	●人材育成に係るセミナー開催 ・ミギウデ塾 ・カクシン塾	●創業・起業に関するセミナー開催 ・リノベーションスクール ・販路拡大セミナー（４段階） ・共催している各セミナーの案内 ●その他 ・呉市創業支援等事業計画の認定
主な対象者		０～４段階	０～４段階	（１）：２～３段階 （３）：１～３段階	０～４段階	０～４段階	０～４段階	０～４段階	１～４段階	１～４段階	０～４段階

【主な対象者】
０段階・・・創業・起業をするかどうか決めかねている人
１段階・・・創業・起業を決めた人
２段階・・・創業・起業準備期
３段階・・・創業・起業後一年経過時
４段階・・・創業・起業後三年経過時以降

	創業前				創業	
					創業～1年後	創業後（3年程度）
概要	０．創業・起業をするかどうか決めかねている人					
	自分のやりたいことを見つけたい	自分のやりたいことを仕事にしたい	１．創業・起業を決めた人	２．創業・起業準備期	３．創業・起業後～1年経過	４．創業・起業後3年程度
相談			**１～４**_知財総合支援窓口（特許・実用新案・商標・意匠等）【公益財団法人くれ産業振興センター】			
					３～４_海外販路開拓及び拡大相談窓口【呉市】	
補助金・資金調達					**３～４**_産学官連携スタート補助金 【公益財団法人くれ産業振興センター】	
					３～４_呉市企業太陽光発電設備導入補助金【呉市】	
			１～３_呉市起業家支援プロジェクト【呉市】			
セミナー・その他	**０**_女性の創業支援連続セミナー「ちょいビジ」		**１～３**_創業チャレンジセミナー@呉市 【公益財団法人 ひろしま産業振興機構ひろしま創業サポートセンター】		**３**_販路拡大セミナー 【呉市】	
		０～３_女性の創業支援セミナー「くれ創業プチセミナー」【呉市】				
		０～２_リノベーションスクール@呉【呉市】			**３～４**_人材育成塾（ミギウデ塾・カクシン塾） 【公益財団法人くれ産業振興センター】	

エピローグ

粋を編む

呉の街はまるで冒険小説に出てくる宝箱のようだ。緑豊かな多島海の最深部。「九つの嶺」を借景とする劇場都市。森と海の狭間に多様性がひしめき輝いている。
鎮守府開庁以来日本の未来を背負い、近代産業を急成長させたその街には130年というわずかな期間で全国各地、世界各国から多様な人、物、技術、情報がゴールドラッシュのごとく押し寄せ、独自の文化を育んできた。その圧倒的な劇場性と多様な価値観が共存するダイナミズムが呉の宝箱のような煌めきと艶を街に宿らせている。
初めて訪れた日から僕はそんな街の魅力に惹きつけられた。その魅力の最たるものは何よりも呉の人々。この街の人々はまずフロンティアの心に満ちている。例えば街の其処此処で見かける食を中心とした極めて個性あふれる他に迎合しない味覚やサービス。おそらくフロンティアたちが持ち込んだ文化だろう。そしてさらにそれらの存在を誇りに思い、こよなく愛する人々がいる。委員会ではそのような愛を「偏った愛」、「偏愛」と定義し、呉最大の宝であると認識した。多様な「偏愛」を平均化しようとしない呉らしい相互理解の根源をなす精神がこの街にあるのを感じる。これは最果ての未開の地のフロンティアとは違うれっきとした古からの文化がその精神相互を繋いでいるのだろう。この街で個性は潰されない。生かされる。
呉のまちには「やぶ」という祭りの文化が集落ごとにある。恐ろしい面をつけてはいるがやぶは鬼ではないらしい。やぶは神様のつかいだそうだ。氏子が神社に奉納しようとする米俵を跳ねつけ揉み合う。だが米俵は潰されない。最後は受け入れられ糧となる。異なるものから眼を背けず、対峙し遂には我がものとする。呉らしい異文化の融合と発展をもたらした精神性の根源がここにあるのかもしれない。
「呉リノベーションまちづくり戦略会議」では官民、公益団体織り交ぜ、立場の異なる19人の多様な実践者たちに委員として参加していただいた。全員が「呉愛」にみなぎった人々であることは間違いない。しかしその愛の具体的なかたちやビジョンには個性があった。会議を通じて議論したまちづくりのビジョン（構想）はなかなかひとところに落ち着かなかった。約1年にわたる「揉み合い（会議）」によって最後に共有することができた言葉、それが『粋』という言葉だった。気付いてみれば呉には粋なモノやヒト、コトが溢れている。なぜか。
呉は錦の御旗のもと光に満ちた歴史を持つがゆえに反面影を宿す。強さとプライドの裏に共存する諦めにも似た弱さと艶っぽさ。これは哲学者九鬼周造が説く「粋の構造」に似ているようだ。粋とは「垢抜して（諦め）、張のある（意気地）、色っぽさ（媚態）」であり、「粋」とは、その対局に「野暮」とも言われる光があってこそ生まれると九鬼は説く。光と影、愛と偏愛、野暮と粋。呉の魅力の本質が見えてきた気がする。
呉が呉らしくその魅力を未来につなぐため、無数の『粋（いき）をつないでいく』、そのイメージは呉の人ひとりひとりが秘めている生（いき）ざま、息（いき）づかいを丁寧に編みあげ、つないでいくことに通ずるのだろう。

(株) ブルースタジオ クリエイティブディレクター
武蔵野美術大学建築学科 客員教授

委員長 大島芳彦

編集・発行

呉市（呉リノベーションまちづくり構想策定委員会）

令和6年(2024年)3月

問い合わせ

呉市産業部商工振興課

〒737-8501　呉市中央4丁目1番6号

電話　(0823)25-3815

FAX　(0823)25-7592

E-mail　syoukou@city.kure.lg.jp